



生態系保護エリア 東山の谷津田を見学しました。

残暑厳しい9月の日曜日、“長久手の環境を学ぶ見学会”の第2回を開催しました。見学先は未来へつなく生態系保護エリア『ながくて ふるさと いきものの里』の一つに指定された“東山の谷津田”です。水田や水路にどんな生きものが生息しているのかを知るため、まずは、みんなで魚、貝、両生類などの水生生物、昆虫の採取に挑戦しました。多様な生きものを目の当たりにして、素晴らしい自然の魅力を実感することができました。

News Letter



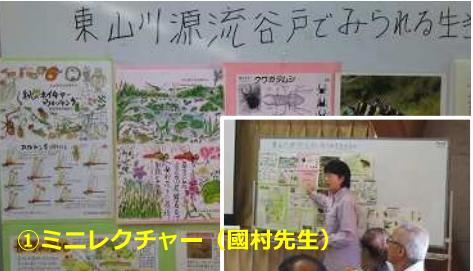
⑤ 捕まえた生きものについて、その種類ごとに國村先生が解説



⑦ 参加者のみなさん

老若男女20名にご参加いただきました。前半は、國村先生（名古屋市水辺研究会代表・自然観察指導員）のガイドの下で、谷津田に生息する多くの生きものを捕まえ、観察しました。自然に魅了された感動が冷めやまぬ中、後半は、参加者の間で豊かな長久手の自然を守るために私たちに何ができるかについて意見を出し合い、最後に私の自然環境保護宣言を行いました。

1. 東山の谷津田・生きもの見学会



① ミニレクチャー（國村先生）

実にたくさんの生きものがいた！

- ① **ミニレクチャー**
 - 見学会の前に、國村先生から、東山の谷津田で見られる生きものについてのミニレクチャーを受けました。
- ② **水生生物・昆虫の採取**
 - みんながタモを手に、魚、貝、両生類、昆虫の採取を行いました。
 - 先生のアドバイスを受け、川底の砂をかき混ぜながらタモを入れると、多くの生きものがアミにかかってきました。
- ③ **捕まえた生きもの**
 - ドジョウ、タニシ、ヤゴ、カエル、エビなど、実に多くの生きものを捕まえました。
- ④⑤ **分類・解説**
 - 現場で、生きものを区分整理して、名称・特徴を國村先生に解説していただきました。



② 水路で生きものを採取



③ 捕まえた多くの生きものたち



④ 生きものを分類し、名称をタグ付け



⑥ シラタマホシクサ群生地をみんなで見学

⑥ シラタマホシクサ群生地の見学

- 東山には湿地などに生えるシラタマホシクサの群生地があります。美しい花を咲かせる時期でもあったのでみんなで見学しました。長久手湿地保全の会の方々が保全活動をしていただいている成果です。

2. 見学会のふりかえり

- さいごに、國村先生に捕獲したすべての生きものを整理分類していただきました。

東山の谷津田で見られた生きもの			
魚	・ドジョウ (12)	エビ・カニ	・ヌマエビ (1)
	●ホトケドジョウ (11)		★アメリカザリガニ (9)
貝	●マルタニシ (3)	昆虫	・キアゲハ
	・カワニナ (9)		・ショウリョウバッタ (雌)
ヤゴ	・オニヤンマ (31)		・オンブバッタ
	・ギンヤンマ (1)		・オオシオカラトンボ (雌)
	・キヒロサナエ (5)		・ウスバキトンボ
水生昆虫	●ヒメタイコウチ (2)	植物	●シラタマホシクサ
	・マツモムシ (6)		・サワヒヨドリ
	・コガムシ (2)		・ボンバナ (ミソハギ)
	・ハイロゲンゴロウ (2)		・ヘクソガズラ (ヤイトバナ)
両生類	・トノサマガエル (3)		・アキノエノコロクサ
	・ヌマガエル (2)		

注) ●：絶滅危惧種 ★：外来種

3. ワークショップ ～生態系の保全に向けて私にもできること～



ワークショップでは、東山の谷津田を見学した感想をのべたあと、生態系の保全に向けて、私たちにもできることについて、みんなで意見交換しました。

Step2 私にもできることって何だろう（抜粋）

- みんなに教えてあげる。話題にする。写真を Facebook にあげる。
- まずは、知人に声掛けして、東山の存在を知ってもらう。
- 豊かな自然を壊さないように持ち込まない、持ち出さないを守りたい。
- 外来種を減らす、逃がさない。
- 生きものの生息地を大事にする、つくる。
 - ・ 清掃活動をして水をきれいにする。
 - ・ 自然の中で遊べる環境をまもる、つくる。
- 交流施設で生きものを飼い、自然にふれあう。
 - ・ みんなが自然のことを知ってくれる、みんなが大切にしてくれる。
- 谷津田の保全、活動への参加、里山の整備。
- 自然観察の活動に参加する。市民が活動できるフィールドを確保する。
- 田んぼで無農薬で稲を栽培する。小川の生き物を守るために。
- 活動に参加してくれる人（きちんと勉強したうえで）を増やす。
- 個人の活動から広げる。
 - ・ 竹藪の除伐作業、里山散策会の企画、稲刈りの手伝い。

Step1 施設見学後の感想（抜粋）

- ヒメタイコウチをつかまえられてうれしかった。
- わずか 10m 程の溝にずいぶんたくさんの生き物がいることにびっくり。
- 話しに聞いていた里山に来ることができた。この谷津田は必ず残して。
- 想像以上に多くの生き物がいた。
- 動物の外来種は極めて少ないが植物の帰化植物が極めて多い。
- 生き物の名前も知らないの絶滅危惧種であることもわからない、知ることから始めないと。
- シラタマホシクサが星のようにたくさん咲いていて感動しました。

Step3 私のごみ減量宣言（抜粋）

- 私は、生態系の保全化に向けて、**長久手の素晴らしい自然を市民の方に少しでも広めていく活動**に取り組んでみようと思います。
- 私は、生態系の保全化に向けて、**身近な昆虫や草花などをもっともっと知ること**に取り組んでみようと思います。
- 私は、生態系の保全化に向けて、**外来種の撲滅活動に積極的に**取り組んでみようと思います。
- 私は、生態系の保全化に向けて、**自然の危うさと美しさを知る勉強**に取り組んでみようと思います。

第3回は、『とよたエコフルタウン・ガイドツアー』を11月30日（土）に開催します。

第4回は、『IKEA長久手のバックヤード見学』を1月25日（土）に開催します。気楽にご参加ください。

番外編 カードゲームでSDGs!!



長久手環境基本計画とSDGs

SDGs は、2030 年までに世界が目指す、持続可能な社会の実現に向けた 17 の目標です。SDGs の大きな特徴として、1 つの目標に向けた取組みがそのほかの目標の達成にもつながっていくことが挙げられます。

第4次長久手環境基本計画は、ごみや自然などのことを考えつつ、さまざまな社会の問題にも貢献できる位置づけとなることを目指していきます。

白熱!カードゲームでSDGs!! 開催します。

SDGs について、カードゲームで体験するイベントを開催します。大人向けではありますが、堅苦しいものではなく、目標達成のために、みんなとワイワイ協力しながら、つつい白熱してしまいます。SDGs をよく知らない人でも楽しめるものです。ゲームの後には、そのSDGs の考え方をを使って、長久手のまちを良くするにはどうすればいいか、皆で考えてみます。ふるってご参加ください。

- [開催日時] 2019年11月09日（土） 9時30分～12時30分
- [開催場所] 長久手市役所 西庁舎3階 研修室
- [対象者] 市内在住、在学または在勤で中学生以上の人
- [費用] 無料
- [申込方法] 環境課へ直接または電話にて申込み。先着順。定員30名。

職員研修にて、SDGs カードゲーム体験しました。

9月27日、市役所職員の研修会でSDGs カードゲーム体験しました。経済ばかりに注目が集まると社会や環境がおそろかになる、一人ひとりが積極的に動かないと世界は変わらない、そんなSDGsの世界観・考え方を体験を通じて学ぶことができました。